



# アクティブ・ラボ

# Active Lab.

はてなをはなす場所



## アクティブ・ラボってどんなところ？



アクティブ・ラボは、**学習や学校生活に関する相談**に対応するスペースです。

大学生活の中での生活や授業の学習で疑問がわいてきたときにはぜひアクティブ・ラボに来てください。

初年次ゼミを担当する教員と3年生以上のピア・サポーターが相談に応じます。

## ピア・サポーターを導入

**ピア・サポーター**とは、学生の皆さんと同じ立場でありつつも、高学年という少し経験を有する立場から、学習に困った人に対してサポートを行う存在です。

アクティブ・ラボをより身近に感じ、気軽に来てもらえるように2023年度からピア・サポーターが加わり、学生の立場から全力でサポートします。現在、経済学部3名（3年生1名、4年生2名）、地域政策学部7名（3年生1名、4年生6名）の学生が在籍しています（2024年度当時）。

学習の悩みだけでなく、学校生活や就職活動の悩みなどにぜひご活用ください。

### 在室時間例（2024年度後期）

月曜 - 水曜 4限	木曜 - 金曜 3限
助教1名、ピア・サポーター2名 (経済学部・地域政策学部)	助教1名、ピア・サポーター2名 (経済学部・地域政策学部)

※在室時間、担当サポーターは学期ごとに変わります。

# アクティブ・ラボ これまでの活動

## 学習・生活相談

### 学習

課題の提出方法や講義の受け方で、分からないことがある学生の学習をサポートします。

レポートや課題の内容に関しては、助教の先生にスムーズに取次ぎ、学生本人の力で課題を克服する手助けをしてきました。

### 生活

学習相談以外にも、普段の生活に関する相談も常時受け付けています。

学生生活のちょっとした悩みにも耳を傾けて、解決に尽力してきました。



## ピア・サポーター制度

### 学生サポーターによる対応

学習面では助教の先生が中心にアドバイスをしますが、生活面などでは学生のピア・サポーターにも相談することができますようになりました。

大人や先生には相談しにくいサークル活動やアルバイトの悩みでも、気軽に来てください。



## ゼミ・履修相談

### ゼミ

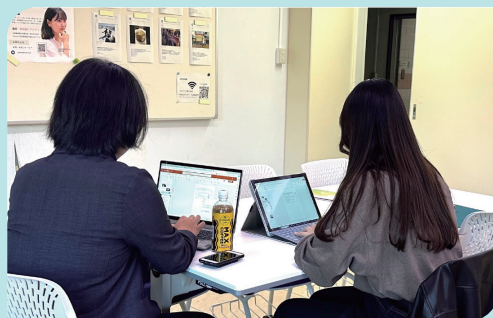
講義に関すること以外では、ゼミナール選択についての相談も受け付けています。

両学部2年次後期から始まるゼミに向けて様々な相談に乗っています。

### 履修

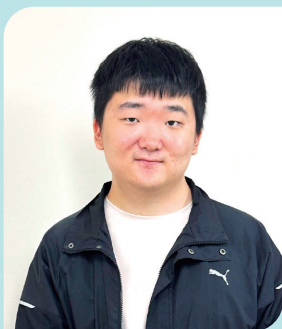
2023年度後期から履修登録の時期に合わせて、全学年を対象とした履修相談会を実施しました。

直前の告知となってしまったにもかかわらず、予想よりも多くの学生に相談に来ていただきました。





## アクティブ・ラボを利用してみて



地域政策学部1年生  
チョ・ヨンジュン

### Q1. アクティブ・ラボを知ったきっかけは？

新入生向けガイダンスで知りました。  
他にも、配布された『Approach』を見て、詳しい情報も知ることが出来ました。

### Q2. アクティブ・ラボを利用してみてどうでしたか？

非常に役に立ちました。  
1年生の前期に初めてレポートを書くことになったのですが、書き方がわからず苦労しました。そこで、アクティブ・ラボに足を運び、書く方法を教えていただきました。

### Q3. まだ利用したことない人に一言！

大学の課題や勉強をする中で、つまずいたときに気軽に来てみてください！



## ピア・サポーターからみなさんへ



### Q1. アクティブ・ラボってどんなところ？

- ・学習中心のお悩みサポーター
- ・近い&遠い将来の相談先
- ・知名度は低いけどいいインフラ
- ・教務課に次ぐ相談場所
- ・困った時に**気軽に足を運べる**場所
- ・頭と心を整理する場所

### Q2. ピア・サポーター目線から見るアクティブ・ラボ

- ・誰かに話すことで自分の気持ちを整理できる
- ・専門的な意見を聞きたい場合は**先生**に、先輩から意見を聞きたい場合は**サポーターに、聞くことができる**
- ・学生サポーターもいるからこそ、訪問するハードルが低い
- ・わからないことを解決するための**第一歩が踏み出しやすい**場所

### Q3. 学生のみなさんに一言！

- ・誰に聞くか分からないときに使ってみてください
- ・はてなを一緒に解決しましょう！
- ・困ったときは**寄るのが吉！**
- ・機器トラブルにも対応します！
- ・視野を広げて学生生活を充実させましょう！
- ・行くと広がるあなたの視野
- ・何かあったらとりあえず来てみてください！
- ・ぜひお話をしに来てください

現在アクティブ・ラボには、  
地域政策学部の学生7名  
経済学部の学生3名  
計10名の学生サポーターが  
在籍しています！

そんなピア・サポーターの皆さんに、  
**「アクティブ・ラボって  
どんなところ？」**  
とインタビューしてみました！  
(2024年度当時)

本誌面に掲載している特命助教は、2024年度取材当時のメンバーです。

## 🗨️ 大学は、学問の場所！



地域政策学部  
天野 恵美理

【出身】神奈川県

【研究内容】専門は哲学。特にフランスの哲学者アンリ・ベルクソンの思想研究。最近は当時の心理学等にも関心があります。

### Q1. 研究はどんなところが面白い？

いつもではないですが、時として没頭できるところです。

### Q2. 印象に残っている大学の授業は？

社会学の授業が印象に残っています。毎週授業が楽しみでした。長期休みの際は、大学が始まるのが待ち遠しいときすらありました。

### Q3. 大学生の間にやっておいた方がいいことは？

やはり勉強ではないでしょうか。

### Q4. これは早めに読んでおくべき本は？

戸田山和久『論文の教室(最新版)』(NHKブックス、2022年)

### Q5. 大学生の時にハマっていたことは？

読書やカラオケです。あとは、やはり大学で友達と議論などするのがとても楽しかったです。

### Q6. 哲学とは？

それこそが哲学の大問題でもあります。

## 🗨️ 学問を楽しもう！



地域政策学部  
新井 庭子

【出身】東京都荒川区

【研究内容】計量国語学、認知科学、リテラシー。「教えることば(the language that teaches)」を研究テーマに、ある科学領域が知識を体系的に伝える際の記述の規則について考えています。

### Q1. 研究はどんなところが面白い？

自分の考えたいことを「問い」として掘り出す過程と、自分の問いを位置付けること、そして考えた結果を他者と共有するための苦労が、特に面白いと感じています。

「自分がわかっていると思っていること」の説明をどのくらいうまくできるか、ということにいつも悩んでいるような気がします。

### Q2. 早めに読んでおくべきだったな、という本は？

熊野純彦『西洋哲学史：古代から近代へ』・『西洋哲学史：近代から現代へ』(岩波新書、2006)です。現代的な思考につながる流れを把握する上で、もっと早めに読んでおけばよかったな、と思います。それ以外にも、興味のある分野の入門書は片っ端から読むことをお勧めします。頭の中で、知識の地図ができる、いろいろ便利です。

### Q3. 大学生の間にやっておいた方がいいことは？

大学は学問の世界なので、そこをどう活用していくか、自分なりの答えを探してください。個人的な意見としては、自分の興味や、悩みや、困りごとが公の場で「なんの名前で呼ばれているか」探すといいと思います。

## 🗨️ 充実した時間を！



地域政策学部  
原田 玄機

【出身】東京都練馬区

【研究内容】社会政策、社会福祉、歴史社会学。戦後日本の知的障害者の政策・処遇史。高崎では、国立のぞみの園（観音山の裏手あたり）などをフィールドとしています。

### Q1. 研究の面白さって？

何気なく見ている世界に対して「なぜ？」と問いを立てることで、この世界の見え方がガラリと変わる経験ができることです。

### Q2. おすすめの本は？

戸田山和久『論文の教室』と高根正昭『創造の方法学』です。分野横断的な人こそ、書き方・方法の考え方を学ぶと頭が整理されます。

### Q3. 社会政策ってなに？

労働と社会保障を中心に、家族政策や教育政策、住宅政策などとかかわりがある分野です。統計データを活用しつつ、それだけではわからないことをインタビューや実地調査、歴史研究などを通して分析します。

ここで問題。大学生の就職率って何%でしょう？わからなかった人は調べてみてください。その数字は想定内でしたか？意外でしたか？統計データの重要性和、それだけではわからないことがあることに気づかされるデータです。よければ、あなたの感想を聞かせてください。

## 🗨️ 一瞬で過ぎる輝く青春を大切に、そして楽しんで！

### Q1. 研究をしている理由は？

大学院時代は、ただ「なんでこんなこと起きたのか」「これについてもっと知りたい」という気持ちでした。右も左もわからない状態で挫折も多かったですが、そこでやめたら「知りたい」を知ることができなくなると思い、その気持ちに掻き立てられ、研究を続けました。

今も研究する過程は決して順風満帆ではないですが、興味関心のあることを調べ、疑問を少しずつ解決していくことが楽しいです。

### Q2. 大学生の間にやっておいた方がいいことは？

勉強(笑)。すごく固い答えですが、私は今でも学部の時もっと勉強したらいいなと思っています。

ただ、その勉強は、授業や試験のための勉強ではなく、自分のやりたいことに向けて、様々な知識を習得する勉強です。例えば、所属サークルの活動、音楽や映画などの興味について知識を深めることです。

思う存分、興味関心に時間を費やしたら、より広い世界が目の前に広がると思います。



地域政策学部  
蔡 珂

【出身】中国南京

【研究内容】日中近代教育史、日中比較史、教育思想、近代知識人。中国と日本の近代知識人の教育思想や活動と、地域社会や政策との関係を中心に研究をしています。

## 📍 アクティブ・ラボへの来室方法



アクティブ・ラボ  
**Active Lab.**  
 はてなをはなす場所

場所：研究棟 1階  
 E-mail：aclub-jyokyo@tcue.ac.jp  
 相談・予約フォーム URL：  
<https://forms.office.com/r/xw4aLzbzrp>



↑ 質問・予約